

出前講座Ⅱ 「ネブタ集会」

【目的】

ネブタ制作者を講師に招き、ネブタの制作技法や歴史などを学び、地域の大切な文化である祭りを身近に感じてもらう機会とする。また、後継者不足問題などの課題が残る地域ネブタを継承していくため、生徒が祭りの担い手となるきっかけ作りとなることを目的とする。

【実施日】 令和5年7月19日（水）

【講師】 大湊ネブタ制作者 大久保 洋史 氏



【生徒たちの感想】

- ネブタの作り方はだいたいわかっていましたが、丸まった針金を真っ直ぐにする方法を詳しく知れて良かったです。ロウで模様を書いていることは初めて知りました。ねぶたには魔力があるんだと思いました。ネブタの文化を続けていってほしいです。
- 毎年普通に見ているネブタがいろいろな思いが込められているのを初めて知った。自分の町内も老人しかいなくなり近年運行が厳しくなっているのを若い人たちが伝統を受け継いで後世へ伝えていかなければならない感じた。
- 津軽、南部、下北で様々な文化があることがわかりました。津軽では灯籠山車、南部では人形山車、下北ではヤマということがわかりました。また、青森と違いネブタがグルグル回転するという特徴があることを知りました。
- 踊り子だったのであまり自分の町会のネブタをしっかりと見たことはありませんでしたが、改めてネブタの作り方や歴史を知ることができて楽しかったです。今年は自分の町会のネブタがなくなってしまったので見る側になりますが大久保さんのネブタを見たいと思いました。